

第1号議案

〔2013年度活動総括〕

2013年4月より、年度がスタートしました。「障害者自立支援法」による法内移行をようやくクリアできたかと思えば、2013年度より「障害者総合支援法」という新しい法律になってしまいました。新法に対応すべく、常勤職員3名体制、昼食会に対応すべく非常勤職員（調理員）2名増員で臨んだのですが、半年間で4名の職員が入れ替わるという事態に陥りました。また、新法の下、作業上のノルマなどがいろいろ課されていましたが、店舗清掃人員の定着している作業についても、個々の会員が段取りを理解できる段階に到達しつつあります。詳しくは後述します。

また、別紙にもあるように、会員、職員一丸の努力でわずかではありますが黒字という結果を出すことができました。しかし、まだまだ楽観はできないのが現状です。「しまった」と思ってからでは遅いです。今後も、全体ミーティングをはじめ、職員、会員の垣根なく自由闊達な意見を交換し、この「ほっとスペース八王子」を良くするためには、急進的な改革をするのではなく、長い期間、粘り強く話し合いを進めて少しずつ変えていければいいのです。その為に相互的な協力をしていきましょう。

2013年の、特に5月から8月にかけて起きた出来事について、理事が1名解任されてしまいました。また、事情聴取などで、多くの会員に迷惑をかける結果にもなっていました。このことに関していえば、会員の皆さんにはお詫びしてしかるべきですし、また反省しなければならない事ではありますが、「ほっとスペース八王子」がさらに前進していくための肥やしとし、「大事の前の小事」というほどではありませんが、そのくらいの気概を以て、当たっていきたいものです。

2013年度内に、判明しただけで、また2名の元会員（Aさん、Iさん）が亡くなりました。このことにある背景に、孤独死の問題があります。元会員、他の事業所に移行した会員であっても病気の急変、悪化に対応する体制、ケアがもう少しできなかったかということと考えますと、とても悔やまれます。孤独死については、死そのものに関して問題ですが、100%孤独死を避けられなかったとしても、そのあとの迅速な対応によって、結果は大きく変わってくるはずです。それはともかく、改めてご冥福をお祈りします。

「ほっとスペース八王子」における全体的な活動面において、反省すべき点もありましたが、あらためてプログラムや授産活動の総括に入ります。

2013年度は、会員による積極的なプログラム運営が目立ちました。本来であれば、こういった活動に対して事業所としてもできることはなるべくしたい、という思いを持って試行錯誤しながら行っていくつもりです。表彰状を作って授与する、というのもその一環でした。とりわけスポーツ（サッカー、フットサル）や英会話、絵画教室に書道教室と文武にバランス良く、また、ほとんど中止や軌道修正もなく上手くいったプログラムでした。ボランティアによる新講座（ハングル、漢字）も、飽きを来させない楽しい内容で、今後の存続も期待したいものです。また、2013年度末期から、「イメージ遊び（最初に何かテーマを決め、参加者が各々前の話者を受けて、話を繋いで《膨らませて》いくプログラムです。話の流れを作る、話者の知識量、想像力、創造力が試される、そういった要素があります）」、2014年度からはエレクトーンのほかにもう一つの音楽プログラム（合唱、コーラス、簡単な楽器演奏、パーカッションなど）を始めています。

全体ミーティングでは、闊達な意見交換が見られ、そういった意味では、「ほっとスペース八王子」の今後は希望の持てるものとなっています。花見や望年会、餅つき大会や日帰り旅行といった通年行事や季節行事のほか、長崎研修旅行や韓国旅行といった大き目のイベントも実施でき、内容の濃い1年になりました。

授産活動については、ラーメン店清掃が人員定着でき、安定した工賃作業となることができました。ポスティングについても、部数増には至っていませんが、着実な仕事にはなっています。年3回の香華販売も、他団体が休日の出店に難色を示す中、積極的に出店日を押さえ、堅実な売り上げ、工賃の算出に大きく寄与しました。ただ、2013年度いっぱい長沼団地清掃が休止、八障連通信の丁合発送作業も月1から季刊になるという懸念があります。また、北野清掃センターや戸吹清掃センターについても、作業の打診までにとどまっています。あとは、内職的な作業が合間にもうちょっと欲しいところでした。

今後の展望などについては、詳しくは第5号議案「活動方針案」に譲るとして、2013年度の総括案をまとめますと、前半期不安定、後半期やや安定といったところでしょうか。前半期は、特に職員の出入りが激しくなり、特にプログラム面で、会員に任せっきりで、きちんとしたフォローがしきれなかった場面もありました。改めてお詫び申し上げます。今後については、通所者に応じて、職員体制を整えたいところです。

後半期は、新しい職員、理事がようやく定着し、新しいプログラムも導入さ

れ、刺激もあって良い運用が出来るようになってきました。

会員については、ちくちく見学者はいるものの、入会あるいは定期的通所にまでいたる人がまだまだ少ないのが現状です。そう鑑みると、現在通所している会員のみなさんは、如何に努力をしてきたか、ということです。会員の皆さんは、病気の種類、程度もさまざまです。例えば会員のH・Kさんは、きっかけは交通費だったにせよ、店舗清掃などによる生活習慣の変化でよく通所するようになり、さらに最初興味のなかったプログラムも楽しむまでになりました。またM・Kさんは、定期的に通所はしていたものの、最近では積極さが増し、朝早くから来ることが多くなりました。ミーティングなどで積極的に発言しますし、時には職員のフォローまでしてくれます。N・Kさんは、近いということと、在宅中は寂しいという理由で通所するようになったのですが、とても気を遣ってくださいますし、何よりも「ほっとスペース八王子」のムーードメーカーにまでなるとは、通所し始めのころは想像できませんでした。Y・Kさんは、やはり生活習慣が変わったことも大きいですが、人との関係、時には飲みに行くといったことによって変わった部分が大きいとも言っていました。M・Hさんも人との関係によって変わった要素が大きいと言っていました。何よりも「今日どこへ行こう」という選択肢の中に、「ほっとスペース八王子」が常にあるということは大きいとも話してくれました。

昼食会については、多彩なメニューと300円とリーズナブルさからかなり好評で、作る側にとってはモチベーションの上がるものにはなっています。おかげで2013年度1年間、続けることができました。今後も引き続き、レパートリーを増やしながらやっていくことでしょう。

Facebookはまめに更新できましたが、ホームページ、ブログが思うように更新ができなかったのは残念です。「ほっと」ニュースは140・141号合併、142号、143号を発行することが出来、ようやくペースが上がりかけて来ました。最低限季刊、できれば隔月刊にまで拡大できれば、というのが当面の課題であり、目標になっています。

全体的に、前年度と比較した場合、いい1年だったといえるでしょう。「いるだけでもなんとなく楽しい居場所の確保」という点において、「ほっとスペース八王子」本来の存在意義が発揮できました。会員、職員の士気が尻上がりに良くなっていきました。年度始めは何もかもが不安だったことがうそのようです。これも、会員の皆様方の後押しにほかなりません。本当にありがとうございます。また今後、さらなるバックアップを期待しております。職員会員一丸で、今後ものり切って行きましょう。

第1号議案別紙

経過報告

2013年4月1日～2014年3月31日

(2013年)

日付	出来事	役員(理事)	事務局	利用者予定数	利用者数	一日平均
4月1日	新年度スタート	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、山田、堀江、佐野、榛澤 宮本、新道 松田	168名	128名	5.6名
4月8日	ほっとスペース八王子第28回定期総会、第一回NPO総会					
4月22日	職員松田採用					
4月24日	日帰り旅行(サイエンスドーム八王子)					
4月27日	ラファエロ展 国立西洋美術館					
5月8日	誕生会	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、山田、堀江、佐野、榛澤 宮本、新道、松田	168名	132名	5.3名
5月24日	香華販売会議 職員堀江退職					
6月4日	日帰り旅行(南極北極科学館)	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、山田、佐野、榛澤、宮本 新道、松田	160名	104名	4名
6月5日	誕生会					
6月13日	ボウリング大会					
6月18日	カラオケボックス(歌広場) 職員佐野退職					
7月3日	誕生会	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、山田、榛澤、宮本、新道 松田	176名	125名	5名
7月3日	榛澤退職					
7月14,15日	香華販売					
7月19日	演劇鑑賞会(白いお地藏さん) 浅草公会堂					
7月21日	松田退職					
7月28日	医療観察法全国集会					
7月31日	職員工藤採用					
8月7,8,9日	長崎研修旅行	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、工藤、山田、新道、宮本	176名	103名	4.5名
8月25日	制服向上委員会コンサート(調布グリーンホール)					
9月9日	職員森澤採用	有川、堀部、奥野、佐野	堀部、工藤、山田、新道、宮本	152名	93名	4.9名
9月11日	誕生会					
9月20日	ほっとニュース142号発行					
9月23日	香華販売					
9月24日	職員田村採用					
9月26日	香華販売					
9月27日	偲ぶ会					
10月11日	職員工藤退職	堀部、奥野、佐野	堀部、森澤、山田、新道、宮本			

10月18日	日帰り旅行(新宿御苑)		田村	176名	114名	5名	
10月22日	誕生会						
11月1日	NPO臨時総会	佐野理事退任 新理事新道氏	堀部、森澤、山田、新道、宮本 田村	160名	111名	5.6名	
11月3日	精神保健福祉法はどう変わったのか。学習会(労政会館)						
11月12日	ミケランジェロ展(国立西洋美術館)						
18日~21日	韓国旅行						
11月19日	香華販売会議						
11月20日	紅葉狩り、御岳山						
11月24日	医療観察法全国集会						
12月12日	ほっとニュース143号発行	堀部、奥野、新道	堀部、森澤、山田、新道、宮本 田村	152名	132名	6.3名	
12月14日	望年会 労政会館						
12月20日	職員田村退職						
12月25日	餅つき大会						
12月27日	納会						
(2014年)							
1月6日	新年会(お雑煮)	堀部、奥野、新道	堀部、森澤、山田、新道、宮本	152名	111名	5.6名	
1月10日	絵画教室スケッチ多摩動物園						
1月22日	面会活動(いさんMさん)						
1月24日	多摩総研修						
1月28日	誕生会						
1月29,30日	多摩総研修						
2月15日	八障連ボウリング大会 大雪の為中止	堀部、奥野、新道	堀部、森澤、山田、新道、宮本	152名	100名	4.8名	
3月10,11日	箱根日帰り、一泊旅行	堀部、奥野、新道	堀部、森澤、山田、新道、宮本	160名	118名	5.1名	
3月20日	香華販売(緑町霊園)						
3月21日	香華販売(緑町霊園)						
3月22日	香華販売(緑町霊園)						
3月23日	香華販売(緑町霊園)						
3月28日	面会活動(Tさん)						
				利用者年間	1952名	1371名	5.1名

第3号議案

(2014年活動方針案)

～当事者による自主的で活発な運営を～

昨年度（2013年度）は、「ほっとスペース八王子」がNPO法人化し、更に指定事業所となって（いわゆる法内移行して）初めての年でした。NPO設立総会で決定した理事長・有川氏、副理事長・佐野氏を措えた執行部で運営しました。

① 新体制での活動で「新生ほっとスペース八王子」は着実にスタートしました。

1. ボランティア講師のみなさんのご協力や、9月にしっかりした職員の定着で、少なくなった利用する一人ひとりの会員と向き合う関係がしっかりと出来て、個別に支援する体制が出来上がってきたことは良かったと思います。
2. その中でいままで活発ではなかった会員も次第に指導的な役割を積極的に担うようになり、日帰り旅行の幹事役、望年会の司会、乾杯の音頭、講師に代わってエレクトーンの演奏、日々のプログラム活動でも先導的な役割を担うようになりました。
3. 共同作業所時代よくあった、調子を崩してまで力量以上のことをしない、力量に応じた挑戦をするようになりました。
4. そういう中で、全体ミーティングを通して、ハングル、漢字で遊ぼう（中国語）、英語などの外国語講座、韓国などの海外研修旅行、健康維持のためのスポーツ教室（フットサル、水泳教室）、会員の提案から始まった「イメージ遊び」、会員主催の絵画教室などが実現できていると思います。
5. 授産活動については、ラーメン屋の開店前清掃を平日の毎朝、毎月の八王子障害者団体連絡協議会（八障連）のニューステーター発送、長沼団地清掃、香華販売、ぱどのポスティングなどを通して、参加された会員は生活のリズムをつかんだなどの成果も現れています。
6. 利用費が発生する仲間がいましたが、何とか自活して生活することが出来るということで「ほっとスペース八王子」を卒業しました。
7. 当初は工賃月平均三千円の線を何とかクリアしようと開拓精神で頑張ろうとした仲間と、のんびりといままでのスタイルで一日を過ごそうとした仲間との温度差・ギャップを執行部が縮めることが残念ながら出来ませんでした。
8. そのため開拓精神を発揮しようにも全体化できなかつたので、新しい分野の授産活動は保留となりました。
9. 新しく入会した会員も少しずつ増えていますが、引きこもりから直ぐにはフル利用することが出来ず、年に一回ないし二回の利用でした。

会員拡大を会員・職員皆で図る一方で、会員・職員が、それぞれ何を考え訴えたいか、そのための話し合いや会議を丁寧に行ない、また自己主張の強い会員だけでなく、新入会員や女性会員、症状の思わしくない会員等、ことばで表現することに困難を抱えている会員の意思がくみ取られ配慮できるように努めます。

更に、自己主張が出来ている、活発に活動が出来ているということで、負担をその会員にかけ過ぎることがないようにします。

また慣れない新しく加入した会員が徐々にプログラムや工賃作業に慣れて行けるように先輩会員と一緒にサポート体制が取れるようにします。

また病状の思わしくないときは無理にプログラムや工賃作業に参加させずに、休みたい時に休むことが出来るように先輩会員と一緒に気遣うようにします。

昨年度は名実ともに全体ミーティングや各種プログラムも、会員ひとりひとりの良さが引き出されるような取り組みとして發揮してきました。今年度も更に進めていきます。

また、前年度前半期はNPO法人化し、新体系に移行直後のために忙しくて、トラブルの継続もあったので外に出て行く機会が少なく、視野や見識を広げ深める取り組みがおろそかでした。今年度は長崎研修旅行はじめ、反原発行動、平和活動、海外への研修旅行ももっと進めます。

一人一人の会員の力を育むための日帰り旅行も本年度は二ヶ月一回ペースで催します。

他の事業所ではどのような運営がなされているのか、などの見学・視察活動も行います。良い所はどしどし取り入れて、「ほっとスペース八王子」なりにアレンジしていきます。

開設以来の20年の活動で「ほっとスペース八王子」の元会員も含めて20名以上の仲間が孤独死、自死で亡くなっていることが確認され、追悼会を催しました。今年度も新しい会員も交えて行います。

一人ひとりの会員のネットワーク（仲間作り、連絡網など）が健康と生命を維持するには不可欠の要素であること、自分なりのネットワークを作ることの重要性を確認するためにも悔しい思いで亡くなった仲間達の追悼を行います。

授産活動についても、社会の中で生活していく上で役に立つ面もあるので、希望する会員が参加可能な新しい分野にも挑戦します。

以上を基本として、「ほっとスペース八王子」のすべての運営は、当事者の熟議の末、合議によって決定されることと、車の両輪である賛助会と協力し合って運営をすることを確認したいと思います。